

+.....+
【ケアプロ通信vol.76】
2月度ニュース:「法とは願い」～規程プロジェクト始動～
+.....+

平素より大変お世話になっております。

早くも「河津桜」が見頃となっているようです。
春ももうすぐそこまで来ていますね。

一方、花粉が昨年より多い予測だそうで、
早めに対策をされている方も、多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

年が明けたのはつい最近のように思いますが、2月も終わりです。

3月は卒業や転職など、お別れの季節でもありますが、
新しい環境との出会いの季節でもあります。

個人でのモバイル端末の世帯別保有率は84%だそうです。
学校や職場が離れても、引っ越しをしても、連絡が途切れることがないのが
今の時代の特徴だと思います。

誰かとつながっていないと不安、と思う若い世代の方が多いと聞く一方で
たまにはPCもスマホも家に置いて、のんびりした時間を過ごす、
そんな時間を作ることも、時には必要かもしれませんね。

それでは、2月度のニュースをお届けいたします。

+.....I N D E X.....+

【1】代表 川添高志 「法とは願い」～規程プロジェクト始動～
【2】 予防医療事業部
1) 雑誌「ナーシングキャンパス」に記事掲載されました！
【3】 在宅医療事業部
1) 鳥取のT-HOCに参加してきました！
+.....+

+.....代表 川添高志からのメッセージ.....+

「法とは願い」～規程プロジェクト始動～

アルバイト非行のSNS投稿がニュースになっています。
内部統制やルールとはどうあるべきでしょうか？

参考になるのが漫画キングダムです。
春秋戦国時代において、はじめて中華統一をする秦国。

その中で、多種多様な国出身の人が同じ国民として
生きていくための解決策が、法治国家の樹立でした。

「法とは願い、罰則は手段」というくだりがあります。

ケアプロでは、月2回、内部統制のプロと面談しながら、
組織規程など50以上の規程を6月までに整備します。

いつの時代も、「人としての在り方」が
問われているのではないのでしょうか。



<写真:友人弁護士からもらった秦国王フィギュア>

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

1) 雑誌「ナーシングキャンパス」に記事掲載されました！

実習・国試の学びを臨床につなげる学習誌「ナーシングキャンパス」3月号に記事が掲載されました。

学生アルバイトが、ケアプロでどのような業務をどんな思いで行っているのかを座談会形式でまとめた内容です。

この座談会自体は、学生アルバイトが企画から記事作成まで行った力作となっています。

「どうせやるなら、自分からどんどん提案していくくらい積極的に会社や世の中に貢献できるような仕事をしてみたい！」
「病院以外のキャリアに興味がある」

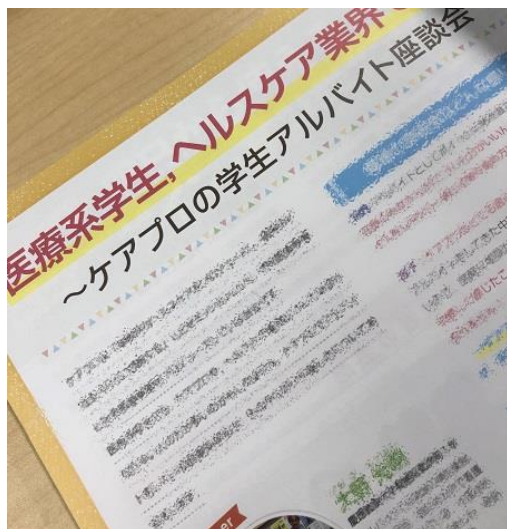
そんな学生さんたちにぜひ読んでいただき、興味を持ってくださった方は学生アルバイトへの応募をお待ちしております。

また、毎月開催している見学会は学生の方も参加可能です。

応募には、見学会の参加が必須となっておりますので、下記の応募フォームからエントリーしていただければと思います。

▼応募フォームはこちら

<http://carepro.co.jp/recruit-onecoin/entry>



+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1)鳥取の研修T-HOCに参加してきました！

2/2鳥取県で開催されているT-HOCという研修に、
講師として弊社スタッフ4名で参加させていただきました。

T-HOCは、早期から在宅療養について触れ、病院にしながら、
在宅志向性を身につけるという趣旨で取り組まれている研修です。

今年で4年目になり、
当初からケアプロも参加させていただいております。

昨年、参加されていた方のうち数人が、
今年度は近隣の訪問看護ステーションへ出向に行かれており、
とても楽しいと話していらっしゃる様子が印象的でした。

こういった活動が、病院と在宅の距離を近づけ、
よりシームレスなケアの構築に貢献するのだと確信しました。

立場は違いますが、ケアプロとしても、地域づくりのために
出来ることは何かを考え、行動していきたいと思えます。

